

すべての人に最高の余暇を



フィールズ株式会社

証券コード：2767

2014年3月期

株主通信 (中間)

2013.4.1 → 2013.9.30

## VOICE & VISION

### CONTENTS

- 01 会長メッセージ
- 03 マネジメントレビュー
- 08 連結財務諸表 (要約)
- 09 特集『ウルトラマン』シリーズの  
価値最大化に向けた取り組み
- 11 企業の社会的責任 (CSR) への取り組み
- 12 IRコミュニティ
- 13 コーポレートデータ/株式情報
- 14 第三者によるフィールズの分析レポート

©円谷プロ ©AKS ©GREE, Inc./エイチーム ©ヒーローズ  
©三浦建太郎 (スタジオ我画)・白泉社/BERSERK FILM PARTNERS  
©創通・フィールズ/MJP製作委員会 ©2010『ウルトラマンゼロ THE MOVIE』製作委員会  
©2011『ウルトラマンサーガ』製作委員会 ©Fields/FutureScope  
©三浦建太郎 (スタジオ我画)・白泉社/BERSERK FILM PARTNERS © Fields Corporation  
©ABC・松竹 ©Fields/FutureScope © WOOLLIM ENT ALL RIGHTS RESERVED.



新たな時代の余暇のあり方に真摯に取り組むことが、  
世の中の人々に豊かさをもたらすと信じ、  
着実に歩みを続けてまいります。



代表取締役会長 (CEO)

山本 英俊

フィールズは、2013年6月10日をもって設立25周年を迎えました。これもひとえに株主・投資家の皆様をはじめ、多くの方々のご支援、ご協力の賜物であり、衷心より厚く御礼申し上げます。

私たちは、「すべての人に最高の余暇を」という企業理念の実現に向けて、四半世紀にわたり、世の中の人々を幸せにするエンタテインメントの提供に努めてまいりました。それは、日本社会が成熟する中で、経済面・物質面の充実だけではなく、心の豊かさに対する人々のニーズの高まりが自然の流れと考えたからです。

私たちは、広く、世の中にあるエンタテインメントを俯瞰し、人々の心を豊かにする余暇の過ごし方について調査・研究を重ねてまいりました。その中で、キャラクターやストーリーをはじめとしたIP（知的財産）が、世の中の人々に幸せや喜びをもたらす一つの要素であると考え、数多くのIPを取得してまいりました。同時に、クリエイティブに秀でた方々や、最先端技術を有する企業などと連携し、パチンコ・パチスロをはじめ、多様なメディア領域にIPを展開する新たな挑戦を続けてまいりました。

東日本大震災発生直後には、新しい未来を切り拓く子どもたちの力になりたいとの思いから、ウルトラマン基金を設立しました。震災発生から2年となる2013年3月には、「『ヒーローキャラバン』～子どもたちの心に光を～78 Places in 東北」をスタートさせ、これまで子どもたちとご家族など、のべ約15,000名にヒーローとふれあう時間をつくりました。子どもたちが笑顔を取り戻し、元気になる姿を見て、IPが持つ可能性を強く実感しております。

現在当社は、IPを主軸とした独自のビジネスモデルを構築し、コミックス、アニメーション、映画／テレビ／舞台の分野で、さらにはパチンコ・パチスロからゲームに至る広範なマーチャндаイジングの分野でIPを創出し、循環させ、活用することで、これまでにない感動や驚きを体験できる商品やサービスを提供しようとしています。これらの取り組みは、既に芽吹きのときを迎えており、複数のIPがこのビジネスモデルによって育成され、価値を向上させております。

当社は、このようなエンタテインメント業界でも類例のない挑戦にあたり、新たなものづくりの仕組みとして、様々な才能を持つ者が多くの情報に触れ、積極的に意見交換を行い、商品やサービスの企画・開発に活かすためのインフラを整備しました。ここで交わされるクリエイティブ・コミュニケーションが、将来にわたって世の中の人々を笑顔にするエンタテインメントを創りだすことを信じ、IPの価値最大化に取り組んでまいります。

私たちの企業理念にご賛同頂き、これまで多大なお力添えを賜りました皆様、そして新たに当社の未来にご期待頂き、株主として加わってくださった皆様に、この場をお借りして深く感謝いたしますとともに、皆様からのさらなるご期待に応えるべく、グループ全体で一丸となってまい進してまいります。今後とも倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

2013年12月

山本英俊



大屋 高志

代表取締役社長 (COO)  
大屋 高志

## 2014年3月期上半期 (以下、当上半期) の総括

株主の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

本株主通信をお届けするにあたり、日頃のご支援、ご愛顧に深く感謝申し上げます。

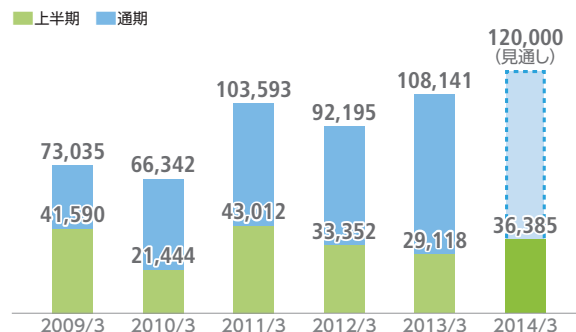
当上半期の連結業績は、売上高36,385百万円 (前年同期比25.0%増)、営業利益2,176百万円 (前年同期は営業損失1,859百万円)、経常利益2,144百万円 (同 経常損失1,738百万円)、四半期純利益1,434百万円 (同 四半期純損失980百万円) となりました。業績変動の主因は、遊技機事業において、パチンコ・パチスロともに販売が好調に推移したため、販売台数が前年同期と比較して増加したことによるも

のです。なお、中間配当につきましては、1株につき25円とさせていただきます。

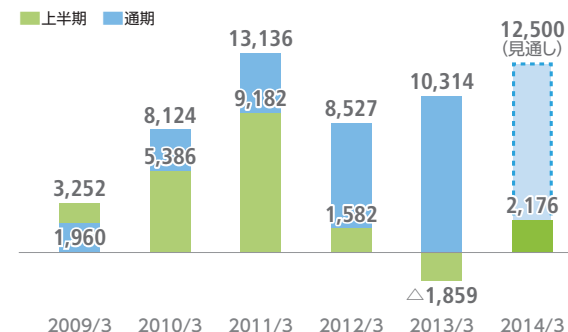
当社グループは、キャラクターをはじめとしたIPを主軸において、取得・保有・創出したIPの価値を最大化することで、中長期の視点に立った持続的な成長を目指しています。

この実現に向けて、現在、コミックス、アニメーション、映画/テレビ/舞台、ゲーム事業などのインタラクティブメディア、コンシューマプロダクト、パチンコ・パチスロの6分野で、IPの価値向上を推進するとともに、各分野が連携してIPの育成・事業化に取り組んでいます。

### 売上高 (単位:百万円)



### 営業利益又は営業損失 (△) (単位:百万円)



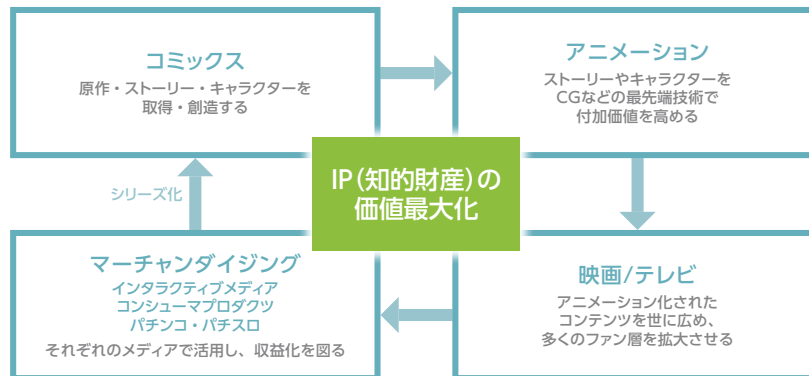
ヒーローの創出を目的としたコミック誌「月刊ヒーローズ」は、連載作品『ULTRAMAN (ウルトラマン)』の単行本第3巻を刊行し、累計発行部数が約90万部に迫るなど、順調に推移しています。

『銀河機攻隊 マジェスティックプリンス』は、コミック誌と連動したテレビアニメとして、全24話の放送にあわせ、グッズの開発・販売を行いました。さらに、ソーシャルゲーム (ネイティブ・アプリ型) の開発を進めるなど、多メディア展開に向けた施策を進めました。

『ベルセルク』は、アニメーション映画 (3部作) の公開に次いで、ソーシャルゲーム (ネイティブ/WEBアプリ型) やパチンコ遊技機を企画開発・販売しました。

『ウルトラマン』シリーズは、コミックスを通じて新たなファン層の獲得を図るとともに、ファミリー層のファン拡大に向け、『ウルトラマンギンガ』『大怪獣ラッシュ ウルトラフロンティア』のテレビ放送や映画公開、パートナー企業と連携したアーケードゲームの展開を進めました。また、遊技機メーカーと連携し、パチスロ遊技機の企画開発及び販売に向けた諸施策を実施しました。

### 成長するビジネスモデル



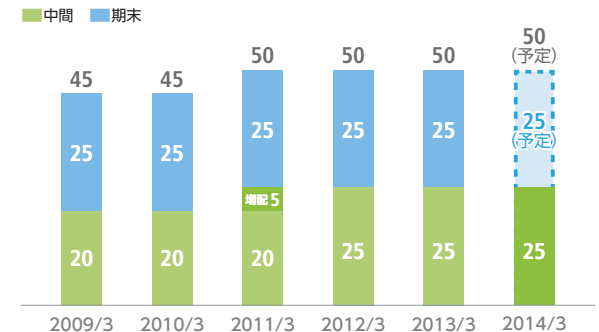
### 2014年3月期の見通し

2014年3月期の連結業績は、期初の計画通り、売上高120,000百万円 (前年同期比11.0%増)、営業利益12,500百万円 (同21.2%増)、経常利益12,500百万円 (同21.7%増)、当期純利益6,300百万円 (同33.4%増) を見込んでいます。

このたび、日本取引所グループと東京証券取引所、日本経済新聞社が発表した新株価指数「JPX日経インデックス400」の構成銘柄に当社株式が選定されました。

これもひとえに皆様のご支援のおかげと心から感謝申し上げますとともに、今後の当社グループのさらなる成長と発展に向け、引き続きご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

### 1株当たり配当金 (単位:円)



※ 2012年10月1日付で、普通株式1株を100株に分割しており、過去に遡って当該株式の分割を考慮した額を掲載しています。



秋山 清晴

取締役副社長  
PS事業統括本部長  
秋山 清晴

当上半期の遊技機事業と、今後の方針についてお聞かせください。

当上半期は、遊技機と親和性の高いIPを活用し、かつ提携メーカー各社の協力のもと4ブランド5タイトルを展開したことで、パチンコ遊技機は、総発売元として『CRエヴァンゲリオン8』を含む3機種を販売し、総販売台数は約110,000台となり、パチスロ遊技機は、総発売元として『回胴黙示録カイジ3』『デビル メイ クライ 4』の2機種を販売し、総販売台数は約61,000台となり、パチンコ・パチスロとも販売が好調に推移しました。

パチンコ・パチスロ市場は国民の余暇の娯楽の一つとして、ファンが求めるエンタテインメント化を促進することで、社会にとって意義のある産業に発展するものと確信しています。このため、当社グループでは、「挑戦が、未来を創る。」というスローガンのもと、多くのパートナーの方々と連携し、ファンの皆様に心から楽しんで頂けるよう、魅力的なIPの創出・育成、及びゲーム性・エンタテインメント性の豊かな遊技機の企画開発を積極的に進めております。

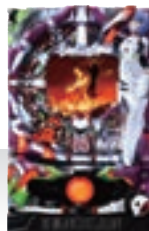
第3四半期以降も、すでに発表した『パチスロ ウルトラマンウォーズ』『CR鉄拳』『機動戦士ガンダム』をはじめ、既存ファンの支持拡大と新規ファンの創造につながる遊技機を順次お届けしてまいりたい所存です。

株主の皆様におかれましては、当社グループの挑戦にご期待頂き、引き続き一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

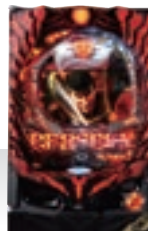
2014年3月期上半期の  
販売タイトル



『CR蒼天航路』



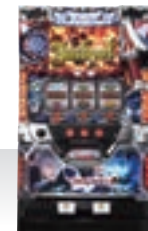
『CRエヴァンゲリオン8』



『新世紀ぱちんこ ベルセルク』



『回胴黙示録カイジ3』



『デビル メイ クライ 4』



敏松徹也

専務取締役  
インタラクティブメディア事業本部長 兼  
コンシューマプロダクツ事業本部長  
繁松 徹也

## パチンコ・パチスロ以外の新たな収益源であるインタラクティブメディア、 コンシューマプロダクツに対する取り組みについて教えてください。

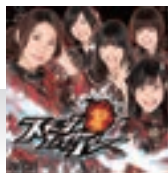
当上半期におけるインタラクティブメディアの分野では、ソーシャルゲーム新タイトルとして、『ベルセルク～快進撃！怒涛の傭兵団～』『必殺仕事人～お仕置きコレクション～』『姫奪!!デモンズサーガ』『Kstars Wonderland (ケースターズ ワンダーランド)』の4タイトルをリリースいたしました。特に、『Kstars Wonderland』は、女性をターゲットとした恋愛シミュレーション・ゲームとして好調なスタートを切っており、今後様々なK-POPアーティストを起用することでファンの拡大を図ってまいります。また、『AKB48ステージファイター』など既存タイトルは、安定した人気を維持しております。

コンシューマプロダクツの分野では、(株)円谷プロダクションのライセンスビジネスにおいて、『ウルトラマンギンガ』『大怪獣ラッシュ ウルトラフロンティア』のテレビ放送・映画公開と連動したグッズやアーケードカードゲームを展開したほか、引き続き『AKB48』を活用したカフェ&ショップの運営などを行いました。

今後もインタラクティブメディアびコンシューマプロダクツの分野において、魅力的なIPの取得・創出を促進し、そして、パートナー企業とも連携し、保有IPを活用したエンタテインメント（商品・サービス）をお客様の嗜好にあわせ、バリエーション豊かに提供していくことで、収益事業としての規模拡大とIPの価値最大化を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、IPカンパニーとしての長期的な成長戦略をご理解頂き、引き続きご支援賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

これまでにリリースした  
主なソーシャルゲーム



『AKB48ステージファイター』



『Kstars Wonderland』



『必殺仕事人～お仕置きコレクション～』



栗原 正和

常務取締役  
コンテンツ本部長  
栗原 正和

### 収益の源泉となるIPの取得・創出・育成に対する取り組みについて教えてください。

当社グループは、世界中のすべての人々に想像を超える驚きと喜びと感動を提供し、笑顔や元気・希望を与えるエンタテインメント作品・商品の提供を行う企業です。そのグループ全体の活動を動かす原材料がIP（平たく言えばコンテンツ、作品）です。優れたIPを調達できなければ、当社グループの成長は止まってしまう。

そこで、私たちは、従来からの【版元さまからIPをお借りする】手段を強化しながら、円谷プロダクションのように【IPを保有する】手段、「月刊ヒーローズ」や『銀河機攻隊 マジェスティックプリンス』のようにパートナー企業さまとともに共同で【自らIPを創造する】手段を加えることで、調達手段を多角化し、それぞれの手段を進化させながら優良IPの調達を行っています。

その調達したIPを、コミック、アニメーション、映画、ゲーム、パチンコ・パチスロなどのメディアを通じて、一気に呵成に短期的に、もしくは丁寧に長期的に、大きく育てるための【IP育成システム】の構築を図っています。アニメやドラマ、映画などの映像化の仕組みづくりやインタラクティブメディアを活用した育成システムなどに挑戦しています。さらに、国内での様々なメディア展開はもとより、海外展開も早期に実現したいと考えています。

これらの諸活動の成功のために、人間の感動のメカニズムやヒーローに関する各種調査・研究などにも貪欲に取り組む、IPに対する知見やノウハウを蓄積しています。

株主の皆様におかれましては、当社グループが広く人々に愛されるIPを生み出すことにご期待頂きますとともに、末永いご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



「月刊ヒーローズ」



単行本『ULTRAMAN』



単行本  
『マジェスティックプリンス』



アニメ  
『銀河機攻隊 マジェスティックプリンス』



連結財務諸表(要約)

連結貸借対照表 (単位:百万円)

科目	前連結会計年度末 2013年3月31日現在	当第2四半期 連結会計期間末 2013年9月30日現在	増減額
<b>資産の部</b>			
流動資産	72,709	<b>49,426</b>	△ <b>23,283</b>
固定資産	33,918	<b>34,348</b>	<b>430</b>
資産合計	106,628	<b>83,774</b>	△ <b>22,854</b>
<b>負債の部</b>			
流動負債	47,365	<b>23,424</b>	△ <b>23,941</b>
固定負債	4,164	<b>4,243</b>	<b>79</b>
負債合計	51,529	<b>27,668</b>	△ <b>23,861</b>
<b>純資産の部</b>			
株主資本	54,957	<b>55,564</b>	<b>607</b>
その他の包括利益累計額	△398	<b>238</b>	<b>636</b>
少数株主持分	539	<b>303</b>	△ <b>236</b>
純資産合計	55,098	<b>56,106</b>	<b>1,008</b>
負債純資産合計	106,628	<b>83,774</b>	△ <b>22,854</b>

連結損益計算書 (単位:百万円)

科目	前第2四半期 連結累計期間 2012年4月1日から 2012年9月30日まで	当第2四半期 連結累計期間 2013年4月1日から 2013年9月30日まで	増減率 (%)
売上高	29,118	<b>36,385</b>	<b>25.0</b>
売上原価	20,293	<b>22,737</b>	<b>12.0</b>
売上総利益	8,824	<b>13,648</b>	<b>54.7</b>
販売費及び一般管理費	10,684	<b>11,471</b>	<b>7.4</b>
営業利益又は営業損失(△)	△1,859	<b>2,176</b>	—
営業外収益	407	<b>331</b>	△ <b>18.7</b>
営業外費用	286	<b>364</b>	<b>27.3</b>
経常利益又は経常損失(△)	△1,738	<b>2,144</b>	—
特別利益	1	—	—
特別損失	166	<b>22</b>	△ <b>86.7</b>
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△1,903	<b>2,121</b>	—
法人税等	△851	<b>770</b>	—
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,051	<b>1,351</b>	—
少数株主損失(△)	△71	<b>△82</b>	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△980	<b>1,434</b>	—

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科目	前第2四半期 連結累計期間 2012年4月1日から 2012年9月30日まで	当第2四半期 連結累計期間 2013年4月1日から 2013年9月30日まで	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,070	<b>△4,554</b>	△ <b>5,624</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,625	<b>△1,650</b>	<b>975</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,111	<b>△1,387</b>	△ <b>276</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	<b>1</b>	<b>5</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,670	<b>△7,590</b>	△ <b>4,920</b>
現金及び現金同等物の期首残高	18,284	<b>23,309</b>	<b>5,025</b>
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	<b>△10</b>	△ <b>10</b>
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,613	<b>15,708</b>	<b>95</b>

(注) 増減額及び増減率については、表上計算しています。



財務情報の詳細については  
当社IRサイトをご覧ください。

<http://www.fields.biz/ir/j/>

フィールズ IR 検索

# 『ウルトラマン』シリーズの 価値最大化に向けた取り組み

フィールズグループは、コミックス、アニメーション、映画/テレビ/舞台の分野で、さらにはパチンコ・パチスロからゲームに至る広範なマーチャндаイジングの分野でIPを創出し、循環させ活用することで、IPの価値の最大化を図っています。

今回の特集ではフィールズグループの一員である(株)円谷プロダクションが保有する『ウルトラマン』シリーズを事例として取り上げ、循環によるIPの価値の最大化に向けた取り組みをお伝えします。



## 『ウルトラマン』シリーズ

『ウルトラマン』シリーズは、(株)円谷プロダクションが制作し、東京オリンピックの2年後の1966年からテレビ放送が開始されました。単純な怪獣や宇宙人と人間の戦いというストーリーだけでなく、環境問題など、時代ごとの社会背景をもテーマに取り入れ、子どもたちのヒーローは、やがて国民的なヒーローとなりました。シリーズを追うごとにファンを増やし、これまでに30を超えるウルトラヒーローが誕生しています。

## アニメーション



## コミックス

これまでの『ウルトラマン』の世界観を踏襲しつつも、現代の人間的なヒーローとして創出した全く新しいキャラクターの物語『ULTRAMAN』を、「月刊ヒーローズ」にて連載しています。単行本も発刊しており、3巻合計で約90万部に迫る発行部数となっています。



**FIELDS**  
Gaming and Entertainment

IP (知的財産)  
価値最

## 映画/テレビ




『ウルトラマン』の活性化への取り組みとして、これまでも話題性の高いキャストの採用や迫力あふれる3D映像化などの新たな試みを行ってきました。2013年7月には、新たなウルトラヒーローが登場する7年ぶりのテレビシリーズ『ウルトラマンギンガ』の放送、9月には映画公開を行ったほか、『大怪獣ラッシュ ウルトラフロンティア』のテレビ放送や映画公開を行いました。



産)の  
大化



## マーチャндаイジング

-  インタラクティブメディア
-  コンシューマプロダクツ
-  パチンコ・パチスロ

マーチャндаイジングの分野では、ビスティ製パチスロ機『パチスロ ウルトラマンウォーズ』を販売したほか、パートナー企業と連携し、テレビ放送、映画公開を行った『ウルトラマンギンガ』のグッズや『大怪獣ラッシュ ウルトラフロンティア』のアーケードカードゲームの展開を進めています。



ギネス  
世界記録™  
認定!

「最も派生テレビシリーズが  
作られたテレビ番組」

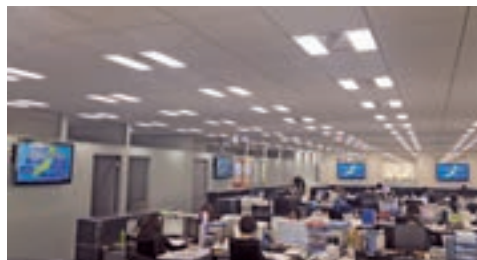


1966年7月より放送された、(株)円谷プロダクション制作の特撮テレビ番組『ウルトラマン』が、「最も派生テレビシリーズが作られたテレビ番組」(Most TV spin-off series)としてギネスワールドレコーズ™により世界記録に認定されました。

### 企業の社会的責任 (CSR) への取り組み

当社及び当社グループは、「すべての人に最高の余暇を」という企業理念の実現に向け、社会や人々の豊かさに資するエンタテインメントを提供しています。その事業活動を永続的に推進し、社会と共存し続けることが当社CSRの基本的な考え方であり、その基盤となる経営の健全性を高め、社会からの信頼を得るために、CSR活動を重要な取り組みと位置づけています。

#### 人材の育成



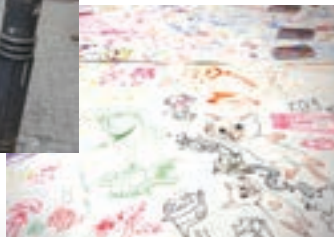
オフィスに設置されている情報共有ツール「WE」では、支店紹介や新たにリリースする商品・サービス紹介など、様々な情報が放送されています。

当社では、持続的成長の源となる従業員が能力を存分に生かし、誇りを持って働くことができるよう、中長期を見据えて人材を育成する仕組みづくりに取り組んでいます。例えば、時間や距離、部署や世代などの壁を取り払い、マネジメント・従業員全員が対等な関係でコミュニケーションをとれるインフラの整備を進めています。そこでは、新たなプロジェクトの構想やアイデアの交換が行われ、違う視点を持つ者同士のコミュニケーションは多くの気づきを生み出します。そのような活発なクリエイティブ・コミュニケーションは、多様な人材の力を効果的に引き出し、従業員のモチベーションの向上、そして新たなエンタテインメントの創出と市場での競争優位性の確立につながると考えています。

#### 社会貢献活動 トピックス



渋谷区定例清掃活動に定期的に参加しています。



ピースマイルプロジェクトにて訪問した長崎県の施設では、マンガ家と子どもたちが、ともに1枚の画を描き上げました。

当社は、社会貢献活動の一環として、本社周辺の清掃活動を定期的に行っているほか、本社所在地である東京都渋谷区主催の清掃活動や一般社団法人JEAN主催の鶴沼海岸（神奈川県）のクリーンアップキャンペーン、他社と協働での清掃活動などにも積極的に参加しています。

また、当社は、マンガを通じて児童福祉施設で暮らす子どもたちと社会をつなぐボランティア活動を実施するNPO団体の活動「ピースマイルプロジェクト」に賛同しています。2013年10月には、本プロジェクトに参加する著名なマンガ家とともに長崎県の施設へ訪問し、子どもたちと一枚の画を描き上げるなど、笑顔にあふれる取り組みに参加しました。

今後も、社会貢献や環境保護につながる、様々な活動に積極的に取り組んでいきます。



## 『ヒーローキャラバン』～子どもたちの心に光を～ 78 Places in 東北

活動報告 ただいま **44** か所訪問

(2013年10月末現在)



©円谷プロ

ウルトラマン基金は、円谷ヒーローたちが被災地の78か所を訪れて子どもたちの夢を応援する『ヒーローキャラバン』～子どもたちの心に光を～ 78 Places in 東北 を2013年3月からスタートさせました。10月末までに44か所の保育園や幼稚園、ボランティアセンター等へのキャラバン訪問を実施し、約4,000名の子どもたちがヒーローと触れ合いました。笑顔で過ごす時間の中で、子どもたちが自然に将来の夢や希望を語るができる機会を作りたいと考えています。今後も子どもたちに心からの笑顔が戻るよう、積極的な活動を継続していきます。

### 子どもたちからのお便り



堤乳幼児保育園  
(岩手県大槌町)



双葉第二幼稚園  
(福島県郡山市)



伊里前保育所  
(宮城県本吉郡)



「ウルトラマン基金」は、子どもたちの未来のために、物心両面からの支援を、粘り強く実施していきます。

設立：2011年3月 運営事務局：(株)円谷プロダクション

基金の概要及び活動については基金オフィシャルウェブサイトをご覧ください。

<http://www.ultraman-kikin.jp/>

## IR Community

### IRコミュニティ



札幌会場



新潟会場

### 個人投資家向け会社説明会を実施しています。

株主及び個人投資家の皆様に当社への理解促進を深めて頂きたいとの思いから、全国各地で会社説明会を実施しています。

当上半期は、北海道2都市と新潟の計3か所で開催し、約360名の方にご来場頂きました。

説明会では、当社のビジネスモデルやIPをご紹介します。皆様からは株主還元方針やCSRなどについて、幅広いご質問を頂きました。今後も継続して説明会を実施し、当社に対する理解を深めて頂けるよう努めてまいります。

### 2014年3月期 主なIR活動の実施報告

2013年	5月	2013年3月期決算説明会開催 個人投資家向け会社説明会開催(北海道)
	6月	第25回定時株主総会開催
	7月	海外IR実施
	8月	2014年3月期1Q決算発表
	9月	個人投資家向け会社説明会開催(新潟)
	10月	海外IR実施
	11月	2014年3月期2Q決算発表 個人投資家向け会社説明会開催(岡山、福岡)

### 今後の主なIRスケジュール

2014年	2月	2014年3月期3Q決算発表
	5月	2014年3月期決算発表
	6月	第26回定時株主総会開催

※今後の個人投資家向け会社説明会の開催予定は、当社IRサイトにてご案内いたします。

コーポレートデータ / 株式情報 (2013年9月30日現在)

## 会社概要

商号	フィールズ株式会社 (英文: FIELDS CORPORATION)
企業理念	「すべての人に最高の余暇を」
設立	1988年6月
本社所在地	〒150-0036 東京都渋谷区南平台町16番17号 渋谷ガーデンタワー
資本金	7,948百万円
従業員数	1,544名 (連結)
事業内容	1. キャラクター、コンテンツの企画開発、販売 2. 映像ソフトの企画開発、販売 3. 遊技機の企画開発 4. 遊技機の仕入、販売
連結対象会社	ルーセント・ピクチャーズエンタテインメント(株) (株) デジタル・フロンティア (株) 円谷プロダクション (株) フューチャースコープ トータル・ワークアウトプレミアムマネジメント(株) 他 11社

## 役員

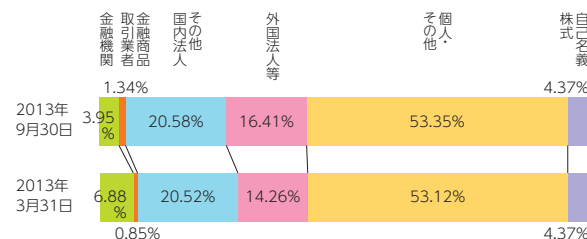
代表取締役会長	山本 英俊
代表取締役社長	大屋 高志
取締役副社長 (PS事業統括本部長)	秋山 清晴
専務取締役 (インタラクティブメディア事業本部長 兼 コンシューマプロダクツ事業本部長)	繁松 徹也
常務取締役 (コンテンツ本部長)	栗原 正和
取締役 (計画管理本部長)	山中 裕之
取締役 (コーポレート本部長)	伊藤 英雄
取締役 (PS事業統括本部副本部長)	藤井 晶
取締役 (法務室長)	末永 徹
社外取締役	糸井 重里
社外監査役 常勤	池澤 憲一
社外監査役	小池 敕夫
社外監査役	古田 善香
社外監査役	中元 紘一郎
執行役員 (計画管理本部副本部長)	小澤 謙一
執行役員 (コーポレートコミュニケーション室長)	畑中 英昭
執行役員 (PS事業統括本部副本部長)	藤島 輝男
執行役員 (PS事業統括本部支店統括部長 兼 同本部北海道・東北支社長)	若園 秀夫
執行役員 (イメージング&ライブエンタテインメント本部長 兼 アニメーションプロデュース本部長)	小澤 洋介
執行役員 (研究開発室長)	大塩 忠正
執行役員 (メディアリレーション事業本部長)	菊池 伸之
執行役員 (イメージング&ライブエンタテインメント本部副本部長) (株) デジタル・フロンティア代表取締役社長)	植木 英則
執行役員 (アニメーションプロデュース本部副本部長) (ルーセント・ピクチャーズエンタテインメント(株) 代表取締役社長)	鎌形 英一
執行役員 (インタラクティブメディア事業本部 エグゼクティブプロデューサー) (株) フューチャースコープ代表取締役社長)	富永 政雄

(注) ( ) 内は主たる役職となっています。

## 株式状況

発行可能株式総数	138,800,000株
発行済株式総数	34,700,000株
自己名義株式	1,516,200株
株主数	9,646名

## 所有者別株式分布状況



## 大株主 (上位10名)

株主名	所有株式数 (株)	持株比率 (%)
山本 英俊	8,675,000	25.00
(株) SANKYO	5,205,000	15.00
山本 剛史	3,612,800	10.41
(有) ミント	1,600,000	4.61
ノーザントラスト カンパニー (エイブイエフシー) サブ アカウント アメリカン クライアント	971,148	2.80
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	750,400	2.16
大屋 高志	450,000	1.30
資産管理サービス信託銀行 (株) (証券投資信託口)	384,900	1.11
日本マスタートラスト信託銀行 (株) (信託口)	354,800	1.02
ザ バンク オブ ニューヨーク メロン (インターナショナル) リミテッド 131800	349,700	1.01

\*当社所有の自己名義株式は大株主 (上位10名) から除いております。



## 第三者によるフィールズの分析レポート



櫻井 英明 (さくらい・えいめい)

ストックウェザー  
『兜町カタリスト』編集長

日興証券での機関投資家の運用トレーダー、「株式新聞Weekly編集長」などを  
経て、2008年7月から現職。

東京MX テレビの株式市場LIVE 中継「東京  
マーケットワイド」、ラジオNIKKEI「ザ・  
マネー」火曜レギュラー、木曜「櫻井英明  
の投資知識研究所」、金曜「投資知識研  
究所乱闘編 銘柄バトル」のレギュラー  
など。主な著書に『待ってたぜ〜この瞬  
間 やっぱ株は儲かる!』(明日香出版社)、  
『誰でもわかる!世界同時恐慌のすべて』  
(中経出版)、『日本の経済これからどうな  
るの?』(日本実業出版社)など。

フィールズはパチンコ・パチスロ市場を収益のメインフィールドにしている。したがって娯楽機関連の会社という認識が市場では当然ながら支配的になっている。しかし「すべての人に最高の余暇を」という企業理念からもうかがえるように決してパチンコ・パチスロだけに拘泥している訳ではないように思える。その見据える未来は、コンテンツ創造企業としての存在。「最高の余暇」=コンテンツを追い求めるという発想こそが原点にあるに違いない。

市場でしばしば使われるIP=Intellectual Property (知的財産)というキーワードそのものが同社の姿を表現している。山本英俊会長は「私たちはエンタテインメント業界でも類例のない、IPを主軸とした独自のビジネスモデルに挑戦している。コミックス・アニメ・映画/TVの世界でIPを創出し、循環させ、活用することでこれまでにない感動や驚きを体験できるサービスを提供していく」とコメントしている。つまり、パチンコ・パチスロは収益を生み出す一つのツールでありその収益こそが新たなIPを育成する源泉であるともいえよう。そして同社のIPの活動エリアはかなりの広がりを持っていることになる。

以前まだ上場前の同社の南麻布のオフィスを訪ねたことがある。たぶん今でいうIP部隊が常駐し、日夜新たなIPの検索や創造を目指していた姿が甦ってくる。同社の宝のひとつはこれらIPを創出する人材ということも言えよう。同社のエヴァンゲリオンの成功例は記憶に新しいところであるが、新たなヒーローは今でも生みだされている。新たなコンテンツを生み出しているのが、名前の通りの月刊誌「HERO'S」。同社が2011年に創刊したものの、新たなファンを数多く創造している。例えば「ウルトラマン」

ならぬ「ULTRAMAN」。ハヤタ隊員の息子がヒーローとして活躍するもので既に3冊の単行本となり累計販売部数は90万部に迫る勢いとなっている。日本の至宝とも称されるウルトラマンの再活性化と新生を担っていることになる。同社のコアコンピュタンスは、あくまでもヒーローやファンの創造。時間を経て生き続けるヒーローをパチンコ・パチスロ業界のみならず、エンタテインメントとして国内外のファンに届けることが同社の存在基盤なのである。

昨年5月に同社が発表した「成長するビジネスモデル」で表現されていることはパチンコ・パチスロに主軸をおいたビジネスモデルからIPを主軸においたビジネスモデルへの戦略転換を表明している。同社が目指しているのはコンテンツビジネスでの事業拡大なのである。一市場関係者としてココは見過ぎてはいけない部分であるといつも戒めている。また投資家の立場になってみるとココが一番見えにくい点なのかも知れない。だからこそ同社はIR活動を積極的に行い成長戦略や未来像を示しているであろう。小さな努力の積み重ねがいずれは市場の認知度の向上に必ず役に立つものだと考えている。そしてこの部分も「フィールズの挑戦」の一環であるに違いない。

国策として株式市場で昨今話題になっている「クールジャパン(格好良い日本)」。経済産業省が主導した格好で日本のコンテンツを拡大する動きが進められている。アニメやフィギュアや和食など多くのコンテンツで多くの企業がクールジャパンのキーワードの範疇に入っている。同社も間違いなく「クールジャパン」の一角を占めている。その未来像に期待したい。心に残るキャラクターやストーリーを創造してくれる企業は心に残る銘柄となってくれるに違いない。

# Shareholder Memo

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	
定時株主総会・期末配当	毎年3月31日
中間配当	毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行(株)
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行(株) 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031 取次事務は三井住友信託銀行(株)の本店及び 全国各支店で行っております。
上場証券取引所	東京証券取引所(JASDAQスタンダード) 証券コード:2767
公告方法	電子公告 URL <a href="http://www.fields.biz/ir">http://www.fields.biz/ir</a> (事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。)

### ◎住所変更のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行(株)にお申し出ください。

### ◎未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行(株)にお申し出ください。

### ◎「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねています。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用頂くことができます。

※確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

## すべての人に最高の余暇を

### 企業理念への想い

### VOICE

「すべての人に最高の余暇を」。私たちはこの企業理念に賛同し、2010年にフィールズグループの一員となりました。以来、当社が保有する「ウルトラマン」シリーズをはじめとした様々なIP(知的財産)を多様なメディアで展開し、「成長するビジネスモデル」の中で、IPの創造、IP価値の最大化に取り組んでいます。大人も子どもも皆が時間を忘れ、「ワクワク」「ドキドキ」するような楽しい映像作品、豊かな時間の創造につながる商品開発、喜びと希望を与えるイベント展開等を通じて、「すべての人に」感動とときめきをお届けすることで、「最高の余暇」の実現に努めてまいります。

文・表紙文字=株式会社円谷プロダクション 代表取締役社長  
大岡 新一

### IRお問い合わせ先

フィールズ株式会社

コーポレートコミュニケーション室 IR課

TEL 03-5784-2109 MAIL [ir@fields.biz](mailto:ir@fields.biz)

### 見直しに関する注意事項

本冊子に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご承知おきください。なお、本冊子に記載されている商品・サービス名は、各社の商標又は登録商標となります。



この冊子は環境保全のため、  
植物油インキとFSC®認証紙  
を使用しています。



ミックス  
責任ある水資源を  
使用した紙  
FSC® C022915



ユニバーサルデザイン(UD)の  
考えに基づいた見やすいデザ  
インの文字を採用しています。